



発行：浮世絵&蓄音機『香津原』 名古屋市昭和区山里町 70-2 山手アベニュー107 Tel. 090-3855-1200

5月26日 蓄音機コンサート報告

A. 「黒沢映画に聴く歌謡曲」 Part 1 (解説：勝原良太氏)

- 黒澤明が、既成の歌謡曲をいかに効果的に使ったか、という点について具体的な映画「酔いどれ天使」「野良犬」の場면을説明しながら解説。特に「野良犬」で、淡路恵子の踊り子のテーマである「セコハン娘」の使い方は、勝原氏の「気づき」がすごい。黒澤演出の周到さに触れるとともに、勝原氏の黒澤映画の独特の見方に参加者全員が驚嘆。この続きは次回 6月23日に。

B. 「時代を刻むSP～借景としての音楽～」 (解説：湯山 誠氏)

1. J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」(BWV988) からアリア、第1変奏
2. サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」 Vn: ヤン・クーベリック
3. ヤナーチェク「シンフォニエッタ」から
4. モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
5. シューベルト「交響曲第8番」エーリッヒ・クライバー指揮、ベルリンフィルハーモニー
6. マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」から間奏曲
7. マスネ 歌劇「ル・シッド」第3幕から「おお、裁きの主、父なる神よ」
8. シベリウス ヴァイオリン協奏曲 Vn.ジネット・ヌヴェー
9. J. S. バッハ「教会カンタータ第147番 口と心と行いと生活で」から「主よ、人の望みの喜びよ」

*当日使用した楽曲

- 初登場の湯山さん、少し上がり気味ながらも熱のこもった迫力ある語り口に、思わず引きずり込まれました。比較的知られた楽曲で構成されていただけでなく演奏のレベルも高く、また聴きどころを押さえた丁寧な解説で参加者を魅了しました。

6月例会(予告)

○前座：「黒沢映画に聴く歌謡曲」Part 2 (解説：勝原良太氏) 5時スタート

大好評のPart 1に続く、勝原氏独特の黒澤演出の分析。乞うご期待！

○特集：「ジャズ・スタンダードの名演とブルースの真実」(解説：井上雅紀氏) 6時スタート

ジャズとポピュラーで歴史上に燦然と輝く名演・名唱を中心に聴いていただきます。

それに今回はほんの少しだけアカデミックな視点を加え、「ブルース」が持っている音楽性と本質について解説を交えて井上氏が語ります。

スターダスト(ナット・キング・コール)、レスター・リープス・イン(レスター・ヤング)、4月のパリ(ドリス・デイ)、etc.を予定しています。

●午後5時～ 会費：1,500円(定員・40名) ※予約優先